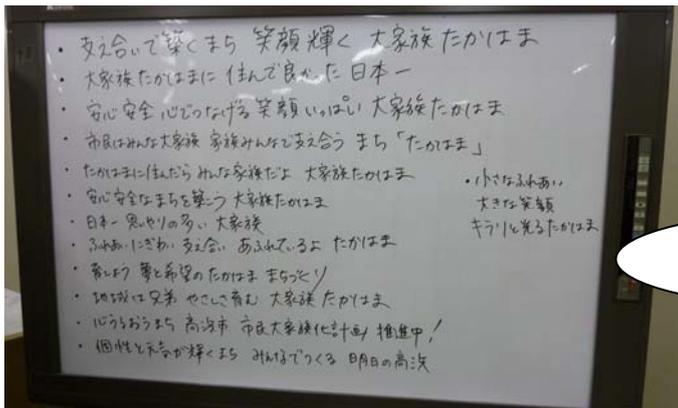




笑顔輝く  
高浜らしさを…  
大家族  
支え合い



お！  
『つながり』っていいね！  
高浜らしさを出したいね！  
なるほど！



この言葉が大事だね！



【中川幾郎先生（総合計画審議会会長）からのアドバイス】

- ◆ “高浜らしい”が一番大事だが、「らしい」とは何なのか。
- ◆ まちづくりの合言葉を考える上で3つの観点が大切①どういう方向に向かって進んでいきたいのかという「方向性」「夢」「ビジョン」、②「方向性」「夢」「ビジョン」を実現するための「つながり」「内部資源」、③外から見た時に高浜市がどう見られているかという「外部評価」
- ◆ 夢のないところに発展はない。資源がないと言っているだけでは“ないものねだり”になってしまう。そういう地域は、やがて衰退していく。
- ◆ 最大多数で意見を集めると、ありふれた無個性なものになる。何か1つ「夢」を絞り込むと、シャープでいいキャッチコピーになる。
- ◆ 「大家族たかはま」というキャッチコピーはとても良い。こういう言葉が言える地域は他にないと思う。「家族」という言葉に抵抗がある人もいるようだが、「家族」というのは同質性を意味するわけではない。子どもを守り、みんなで支え合う様子が分かる。「遠くの親戚より、近くの他人」という意味で考えれば良い。
- ◆ 方向性は出来たように思う。
- ◆ 合言葉の発表で多く出てきた「ふれあう」「にぎわう」「支え合う」は、「ネットワーク」。高浜の人口が多くないことは強みになる。濃いネットワークをつくることができる。
- ◆ 合言葉は、語呂がよく、リズムカルなものに絞り込むといい。「5・7・5」や「8・6・8」に近いものにすると、口にしやすい、耳に残りやすい。

【編集後記】皆さんに記入していただいた「合言葉」を集計しました。短い言葉に込められた志や思いが一枚一枚から伝わってくるようです。最近は皆さんの字を見てお顔が浮かぶようになりました。それだけ皆さんが会議に足を運んでくださっているということですね。地域やまちづくりについて真剣に取り組んでいる人が、こんなにたくさんいらっしゃるという“人財”と人の和（輪）こそが高浜市の最大の魅力ではないでしょうか。いよいよ総合計画の看板にあたる将来都市像を決め、市民会議に参画している方以外の方にも関心を持ってもらえる、わかりやすい総合計画の完成に向かって「想い」を「形」にしていく作業が進んでいきます。（K. K）

